

水産土木
センター

復興向け引続き注力

永井氏が業務執行理事に

水産土木建設技術セン

ター(宇賀神義宣理事長) 策、東日本大震災の復旧

は22日、東京・赤坂の石

垣記念ホールで通常総会

を開き、すべての議案と

報告事項を原案通り承認

した。平成28年度も引き

続き水産土木工事などに

関する技術者の養成、業

務支援を行っていく。

同センターでは、沖ノ

島島(東京都小笠原村)

でのサンゴ増養殖開発

沖合湧昇漁場(マウンド

礁)の整備効果調査、水

産基盤施設の長寿命化対

理事が退任。新たに永井

克彦前島根県出雲県土整

備事務所長、佐藤雅彦青

森県農林水産部漁港漁場

整備課長を理事に選出

し、永井氏が業務執行理

事を引き継いだ。



宇賀神理事長

宇賀神理事長は冒頭あ

いさつで東日本大震災の

関係業務に触れ、「漁港

施設の復旧が完成を迎え

ようとしている。代わる

ように防潮堤などの業務

へ移行しつつあるが、移

転跡地の集落かさ上げ、
集落道の整備が残されて
いる」と述べ、現在もな
お復旧・復興の途上にあ
ることを強調。

ストックマネジメント
事業や漁場調査などと
もに、今後も全力を挙げ
て取り組んでいく姿勢を
示した。

総会後には「これから
の沿岸海域再生の方向性
について」をテーマに、
中村由行横浜国立大学大
学院都市イノベーション
研究院教授が講演。里海
づくり、物質循環など環
境施策の重要性を説明し
た。講演後は、設立30周
年の記念祝賀パーティー
も行われた。

全国団体